

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

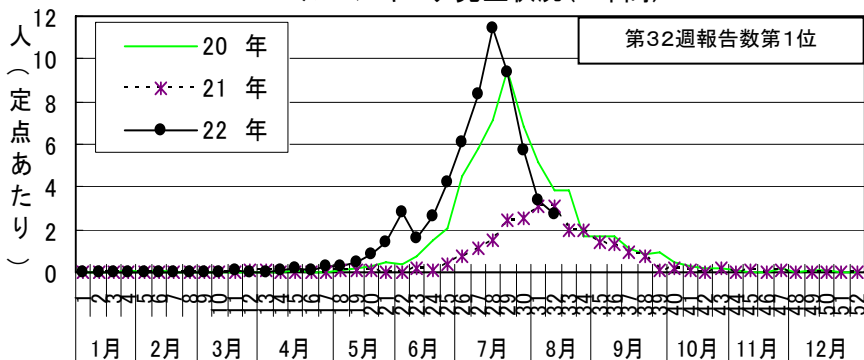


KAWASAKI CITY

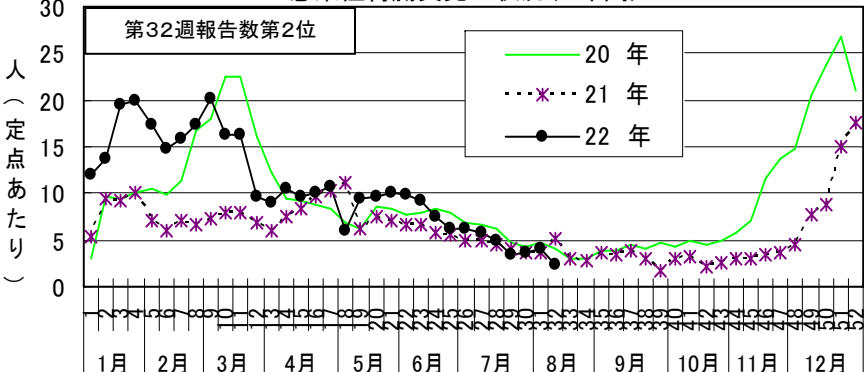
平成22年8月9日（月）～8月15日（日）〔平成22年第32週〕の感染症発生状況

第32週で報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)手足口病でした。
ヘルパンギーナ及び手足口病はともに4週連続で患者数が減少しています。ヘルパンギーナは定点あたり2.74人、手足口病は定点あたり1.00人となっています。
感染性胃腸炎は定点あたり2.41人と前週（4.09人）に比較して患者数は減少しました。
腸管出血性大腸菌感染症の届出が3件（うち2件は血清型O26、1件は血清型O157、感染原因はいずれも不明）ありました。夏期は感染症や食中毒の原因となる細菌の増殖が盛んになりやすい時期ですので、次に示した食品の取扱いや患者からの2次感染の防止に注意しましょう。

ヘルパンギーナ発生状況（3年間）



感染性胃腸炎発生状況（3年間）

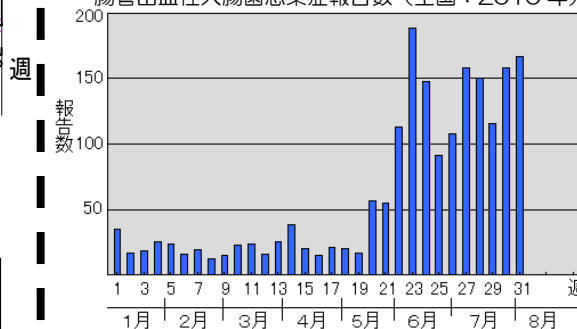


ストップ！！腸管出血性大腸菌感染症

川崎市内において、腸管出血性大腸菌感染症の報告が5週連続（第32週3件）でありました。全国的にも、下のグラフに示すように夏期にかけて患者数は増加傾向にあります。

腸管出血性大腸菌は感染力が強く、数十個～約100個の少量で発症しますので、食品から感染しないように、また患者から2次感染しないように予防策を徹底しましょう。

腸管出血性大腸菌感染症報告数（全国：2010年）



～食品から感染しないために～

1. こまめに手を洗う
2. 食品の衛生的な取扱い
3. 生肉等の加熱（75℃で1分以上）
4. 調理器具を清潔にする

※その他に、食中毒予防のために、食中毒菌を「付けない、増やさない、殺す」という食中毒予防の3原則を徹底しましょう。

～患者から2次感染しないために～

1. こまめに手を洗う
2. 患者の便から経口感染に注意する（オムツ交換時は要注意）
3. 便のついた衣類・寝具などの消毒
4. 患者は入浴やプールを控え、シャワーですませる

※動物との接触による感染と推定された事例もありますので、手洗いを心がけましょう。



感染症情報メール配信始めました！

概要

メール配信サービスに登録していただいた方に、定期的（原則毎週水曜日）に、最新の「今、何の病気が流行しているか」と「市内感染症情報」のPDFファイルを、登録いただいたメールアドレスへ配信します。※パソコン向けサービスで、携帯電話では御利用できません。

登録方法

登録方法については、次のURLにアクセスしてください。
<http://www.city.kawasaki.jp/e-news/info2994/index.html>

問合せ先

メール配信等についての問い合わせはこちらまでお願いいたします。
健康福祉局健康安全室新型インフルエンザ・防疫対策担当
電話 044-200-2412 mail: 35kenan@city.kawasaki.jp



発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター（保健所）